

令和6年度 第1回香川県高等学校体育連盟卓球専門部顧問会

令和6年5月17日(金) 14:00～

部会長挨拶

夏は熱中症など昔と違うという認識で指導してほしい。

1. 専門部規約、役員について

理事を希望する人がいたら、専門委員長まで連絡をください。

2. 第64回香川県高等学校総合体育大会について

- 競技日程は大会要項通りで、体育館の開館は1日目7:30(生徒は7:45頃から入場可)。2・3日目8:00の予定。
- 個人戦のアドバイザーは、シングルスはベスト16決定戦から、ダブルスはベスト8決定戦から。個人戦のアドバイザーは校長の認める指導者及び選手のみとする。選手が入る場合、男女の別は問わない。
- タイムアウト制は学校対抗決勝、ダブルス準決勝から、シングルス準々決勝から採用。
- 全ての台にストップウォッチを準備し、ゲーム間のインターバル1分と試合前の練習1分を計測する。
- ラバーの厚さ、平たん性についての検査を行うことがある。
- 中讃地区の学校で初日の準備をお願いします。
- 朝の練習は、3日とも分けて時間を指定(WEBで連絡する)。1日目は時間が多少前後する。
- サブアリーナは使用できる。(選手と監督のみ)
- 学校対抗・ダブルスの最初の試合はコートを記入しておく。コールは行わない。
- 参加選手の増減
男子S 454(R4)→383(R5)→373(R6)
男子D 193(R4)→173(R5)→164(R6)
女子S 180(R4)→166(R5)→169(R6)
女子D 77(R4)→69(R5)→72(R6)

スムーズな進行にご協力ください。

- 2日目は、終了が17:00以降になる可能性がある。(シングルス2回戦までを予定)
- ゴミの処理、貴重品やシューズの管理は各チームで。(ベスト4の学校で清掃)
- 選手、応援生徒等のマナーの指導をお願いします。(1階フロアの使用等)
- 雑巾の使用は、ビニールを敷きプレーの妨げにならないところに設置する。タオルを取るタイミングのみ使用可能。
- 開会式のとき、生徒はアリーナで整列をする。昨年度の優勝杯を返還。
(学校対抗 男:香川西、女:香川西、ダブルス 男:香川西、女:香川西、シングルス 男:香川西、女:尽誠)
- 選手宣誓 尽誠男子(新人優勝校)
- 進行補助 顧問の先生から1名出してください。昼食は手配します。
6/2(日) 9:00～11:00 琴平、藤井寒
11:00～13:00 志度、三木
13:00～15:00 小中央、三本松
15:00～17:00 高専高、高松
6/3(月) 9:00～11:00 観一、香川西
- 1・2日目の全試合終わった後は、練習用として台を開放する。ただし顧問は残って指導すること。
- インターハイ決定戦の主審は、本部から出す。

3. 令和6年度四国高等学校卓球選手権大会について

期日:令和6年6月14日(金)～16日(日) 開会式は14日(金) 17:00～

会場:徳島県 とくぎんトモニアリーナ(徳島県徳島市)

代表 枠：男女各々 団体4、複8、単16

試合形式：団体戦 予選リーグ、決勝トーナメント法

個人戦 トーナメント法 タイムアウトは全種目準決勝から

使用球：白色プラスチックボール（40mm）ニッタク・VICTAS・バタフライを準備する。

審判：相互審判及び敗者審判制とするが、全種目とも準決勝以降は開催県が担当する。

（学校対抗の部は帯同審判員2名参加可能）

参加料：学校対抗 15,000円 個人1人 1,600円

（今年度から高体連から参加料の補助が出ない）

宿泊費：9,800円（1泊2食 税込み）8,300円（1泊朝食）7,600円（素泊まり）

弁当注文は800円（税込み）。

- ・個人戦のアドバイザーは校長の認める指導者及び選手のみとする。アドバイザーでベンチに入るときは、指導者は役職者章、選手はゼッケンを付けること。
- ・香川県選手一覧をすぐに開催県に送るので、学校対抗のエントリーは決めておいてください。
- ・今年度から、高体連からの補助がない。

4. 全国高体連よりの報告・連絡事項

(1) 全国高等学校卓球選手権大会

令和6年度

期 日 令和6年8月 3日（土）～8月 8日（木）

会 場 長崎県大村市 大村市体育文化センター

出場枠 男女各 団体1 ダブルス2 シングルス4

抽選会 学校対抗の部はWEBによる公開抽選会（7月6日）

参加料 学校対抗 45,000円 個人戦 4,500円

使用球 ニッタク・VICTAS・タマスの3メーカーとする

宿 泊 大村市、諫早市、長崎市内になりそう。

大会会場は400台以上の駐車場がある。

令和7年度

①期 日：令和7年7月31日（木）～8月4日（月）

②会 場：山口県下関市 J：COMアリーナ下関

(2) 全国高等学校選抜卓球大会

令和6年度

期 日 令和6年3月20日（木）～23日（日）の予定

会 場 岡山県岡山市 岡山県総合グラウンド体育館（ジップアリーナ岡山）

岡山市総合文化体育館（男子予選リーグ）

参加校 学校対抗男女各56校（四国ブロックより男3校、女4校）

個人戦シングルス2部は各都道府県男女各1名

参加料 学校対抗 45,000円 個人戦 4,500円

(3) 国民スポーツ大会

四国地区予選

期 日：令和6年8月17日（土）・18日（日）

会 場：香川県丸亀市民体育館

全国大会 佐賀県基山町

期 日：令和6年10月5日（土）～10月9日（水）

会 場：基山町総合体育館

出場枠：ブロックから少年男子は3、少年女子は1

(4) 令和6年度全国高校選抜新人合宿

新人大会のシングルス優勝者を出場者とする。

5. 日本卓球協会及び香川県卓球協会より

- ・公認審判員試験及び更新講習会について 7/14 (日) 城乾コミュニティセンター
今年度は、四国大会が多いので積極的に審判の資格を取ってほしい。
- ・上級審判員試験及びレフェリー・上級更新講習 7/7 (日) 香川県丸亀市民体育館

6. 今年度日本卓球協会登録について

(1) 登録料

- ・1人 2,000円

監督も登録が必要です。ベンチに入る可能性のある指導者は、必ず登録して下さい。

監督は登録料 1,500円

(2) 登録方法

パソコンでの入力。登録完了メールを確認した後ゼッケン・役職者章を渡します。

登録で不明な点があれば、松山先生(高松一)まで

7. 高体連卓球専門部会計報告

香川県卓球協会より運営補助金として20万円収入として入っている
→承認

8. 総体個人戦のシード・抽選

来年度以降についてシード方法の意見等があれば栗先生(高松商)まで

9. その他

(1) 夏季強化大会について

8月30日(金) 高松市総合体育館

県総体のベスト8の学校をシードし、ベスト8までの順位を決定する。

この順位が新人大会のシード順位となる。

(2) 東京卓球選手権大会・大阪国際招待卓球選手権県予選会(ジュニア)について

8月12日(月) 高松市総合体育館 香川県卓球協会のHPを見てください。

(3) 西日本高校オープン新人卓球研修会

8月14日(水)～16日(金) 高松市総合体育館

香川県の学校は、県総体ベスト16以上の成績で申し込みをすることができる。(他県はベスト8以上)

県全体の強化の意を考へ、ベスト16までにした。

→レベルの低い大会になる懸念がある

→働き方改革などを踏まえて、西日本オープンの在り方を考えていくべき(時期、試合方法など)

(4) 令和6年度全国教職員卓球選手権大会 愛媛県松山市

8月14日(水)～17日(土) 愛媛県武道館

申し込みはHPに掲載します。(受付は辻先生(多度津)) 〆切 5月末

(5) 国スポ予選会について

二次予選会のリーグ戦の結果、1・2位の選手についてはその選手に決定する。3番目の選手については四国ブロック予選突破を考へて、四国大会等の戦績を考へて理事会で決定する。但し、変更する相手は4～8位の選手とし、ブロック予選のない場合は原則として変更しない。中学3年生も参加できる。

(6) 新人大会について

1 1/2 (土)～4 (月) 高松市西部運動センター

2 (土) 男女学校団体決勝リーグまで

3 (日) 男女ダブルス決勝まで・男女シングルス1・2回戦まで(18:00最終)

4 (月) 男女シングルス決勝まで

個人戦のアドバイザーおよびタイムアウトはダブルスの準決勝、シングルの準々決勝から。

学校対抗のタイムアウトは決勝リーグから適用。

(7) 四国、全国大会のユニホームについて

公認のものを着用すること。学校対抗の部及びダブルスのペアはユニホームを統一すること。

(県総体ではできる限りお願いします。)

高体連主催の大会では広告付きのウェアは着ることが出来ない。

(8) 大会運営について

- ・各種大会の参加申し込みは推薦順に書くこと。(データは春季強化大会、総体、国スポ選考会、東京卓球選手権大会・大阪国際招待卓球選手権県予選会、夏季強化大会、全日本ジュニア予選、新人大会、選抜個人予選、冬季強化大会についてはメールで久保先生(高松商)に送信)締め切り期日を守ること。総体は選手一覧も添付する。
- ・ボール選択について 本部ではニッタク、VICTASを準備する。全国大会で、使用メーカーが指定されている場合は予選もそのメーカーのボールを使用する。
- ・学校対抗の審判員1名を認める。ただし、ベンチでの応援はできない。(審判員の資格は選手に準じる)
- ・県内大会の個人戦のアドバイザーは令和4年度の第2回顧問会で決定したことを確認すること。(別紙)
- ・県内大会の個人戦の審判について
敗者がそのコートの次の試合の審判をし(敗者審判)、試合結果については勝者が結果をただちに本部席へ報告する。ルールの周知。(各校で1年生に指導しておいてください)
リーグ戦の審判は、リーグの選手のチームから出してもらう。(2年生以下の大会でも3年生がなっても可)
- ・個人戦で棄権がある場合は、顧問より審判長に申し出る。生徒からは受け付けない。
- ・学校対抗の棄権及び選手変更は校長印の入った届けが必要。(県総体では理由も記入)(様式はない)
- ・個人戦のコールについて
時間短縮のため、待機場所を定め、予め呼び出すことがある。
- ・強化大会学校対抗の部は、3名での出場を認める。(予選リーグはオープン参加、順位トーナメントには行ける)
(5番を棄権とする(令和5年第2回顧問会で了承))
- ・強化大会学校対抗の部は、3名以下の学校同士で、合同チームとして出場できる。(予選リーグはオープン参加、順位トーナメントには行ける)
- ・フロア内でのビデオ撮影禁止、競技領域内の自分の荷物の整理
→ 競技領域外で撮影できるようになれば、放送で知らせる。
- ・各校ジャージを新調する場合、できるだけ白色を避ける。
- ・組合せは、WEBに掲載され、第一試合のコート番号を振ってあるので確認すること。当日配布することはないので必要であれば印刷しておく。
- ・選手のゼッケン、ユニホームの不備は、各顧問が確認してください。
→顧問だけでなく、選手同士でも確認してください。
対戦相手も確認してください。
急を要するものでなければ、審判長がベンチに入っていないときをお願いしたい。
審判長以外で対応できる内容であるなら、専門委員長などで対応できる。

(9) 四国・全国大会参加者宿泊は、開催県を通して申し込んでください。

(10) 連絡網について 緊急時の対応

なにかあれば、WEBで連絡するので、HPをチェックしてください。

- (11) 県高体連からの強化費について 総体と新人大会の優勝チーム（総体9万、新人6万）
- (12) 四国高校選手権は補助なし。全国高等学校卓球選手権は補助なし。新人大会は参加料無料。
- (13) 試合会場の準備の学校について
 - 高松地区（学校の住所が高松市の学校）
 - 中讃地区（学校の住所が坂出市、丸亀市、善通寺市、多度津町、綾川町、琴平町の学校）
 - 西讃地区（学校の住所が三豊市、観音寺市の学校）

(14) 全日本ジュニアのシードについて

高校生のベスト16が中学生のシードより上位シードになった。

・アドバイザーについて

一人の選手につけるアドバイザーは一名のみという考え方から、試合の途中で、観客席から降りてアドバイザーに入ることは認めなかった。（他の人の意見が入る可能性があったため）

10. 検討事項

(1) 令和7年度の県総体の試合方法について（案）

シードのバランスをよりよくなるために、順位決定戦を行う。

シングルスは、順位決定戦で勝ったものが3位でインターハイに出場

ダブルスは、順位決定戦で勝ったものが2位でインターハイ出場、負けたものが3位。図のDも3位

インターハイや四国大会のため、3～16位まで順位を決める必要がある。

→ 図の例

(C) のゾーン（右側）で勝った選手が3位、(F) のゾーン（左側）で勝った選手が4位

(C) のゾーンの決勝で負けた選手が5位、(F) のゾーンの決勝で負けた選手が6位

(C) のゾーンの初戦で負けた選手が7位、(F) のゾーンの初戦で負けたものが8位

9～16位は、ベスト8決定戦で1位の選手に負けた選手が9位、2位の選手に負けた選手が10位・・・

ダブルスは、図の(A)が優勝、順位決定戦で勝った組が2位、負けた組が3位、(D)が4位

5～8位は、ベスト4決定戦で1位の組に負けた組が5位、2位の組に負けた組が6位・・・

→第2回顧問会で最終決定する。意見があればその時まで

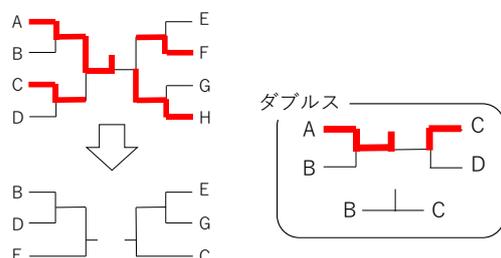
→昨年度にこの方法で実施したのであれば、今年度から実施してはどうか。

→昨年度の劉は、春季大会に参加されてなく、シードを理事で仮に決定したもので、特別な対応をした。

今年度はそのようなイレギュラーなことは起こっていないので、顧問会の決定を受けて決めたい。

→新1年生は過去のデータがないので不利になるのでは。

→シード方法の見直しなどはしていきたいが、今年度は規約に従って運用したい。



(2) 冬季強化大会について

- ・今年度から、冬季の強化大会を行うことができるようになった。
- ・この大会がなくなる前は、学校対抗をして、春の強化大会のシード決めを行っていた。
- ・この時期は、インフルエンザなどの感染症により、欠席する生徒が多く、学校対抗のシード決めは難しい。
- ・昨年強化研修会のような内容を考えている。